

事務事業評価シート

事務事業コード	029200	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	住宅用自然エネルギー導入促進事業		所属名	市民生活部環境局 生活環境課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成16年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市自然エネルギー等導入促進事業費補助金交付要綱
施策	4203	循環型社会の形成				
目標の 実施の 目標	目標の種類別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	鳥取市の年間ごみ総排出量(H26年度:61,181kg 以降前年度比1%減)		60,569kg	58,900kg	運営方法	補助金交付
	自然エネルギーの導入		11,000kw	14,000kw	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	住宅用自然エネルギー導入促進事業費			予算事業コード	01-04-01-05-08-05

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	住宅用自然エネルギーを導入する市民
意図 (どのような状態 にするために)	自然エネルギーの有効利用と化石燃料に替わるエネルギー普及により二酸化炭素の排出量を削減するとともに、地球温暖化の防止と環境保全意識の高揚を図る
手段 (どうするのか)	補助金を交付する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		補助対象 太陽光発電 小型風力発電施設 ペレットストーブ 薪ストーブ 民生用燃料電池	補助対象 太陽光発電 小型風力発電施設 ペレットストーブ 薪ストーブ 民生用燃料電池	補助対象 太陽光発電 小型風力発電施設 ペレットストーブ 薪ストーブ 民生用燃料電池	補助対象 太陽光発電 ペレットストーブ 薪ストーブ 民生用燃料電池	補助対象 太陽光発電 ペレットストーブ 薪ストーブ 民生用燃料電池	
	年度別実績	135件 0件 (申請なし) 1件 12件 8件	96件 0件 (申請なし) 3件 19件 9件	76件 0件 (申請なし) 2件 16件 15件	54件 3件 11件 15件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	29,873	20,019	11,903	10,537	0	
	直接経費 A	22,654	12,700	4,660	3,347	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	11,326	6,350	2,330	1,673	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	11,328	6,350	2,330	1,674	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	住宅用自然エネルギー導入件数	件	目標	180	162	145	130	117
				実績	156	127	109	83
(指標の説明) 住宅用自然エネルギー導入促進事業費補助金を交付した件数(目標値は年度の上限)								
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】環境政策係 0857-30-8082</p> <p>【10次総の施策体系】4203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P205(環環001)</p> <p>【事業の概要】 鳥取市内の住宅等に自然エネルギー設備を導入する市民に対して、自然エネルギー等導入促進事業費補助金を交付する。自然エネルギーの有効利用と化石燃料に替わるエネルギー普及により二酸化炭素の排出量を削減するとともに、地球温暖化の防止等意識の高揚を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電 1件につき3万円を補助 ・ペレットストーブ 設置に要する経費の1/10を補助 (上限6万円) ・薪ストーブ 設置に要する経費の1/10を補助 (上限6万円) ・民生用燃料電池システム 設置に要する経費の1/10を補助 (上限6万円) 															
	<p>【事業の成果】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">太陽光発電</th> <th style="text-align: center;">薪ストーブ等</th> <th style="text-align: center;">民生用燃料電池</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: center;">96件</td> <td style="text-align: center;">22件</td> <td style="text-align: center;">9件</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: center;">76件</td> <td style="text-align: center;">18件</td> <td style="text-align: center;">15件</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td style="text-align: center;">54件</td> <td style="text-align: center;">14件</td> <td style="text-align: center;">15件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 設置経費の低価格化や自然エネルギー促進をとりまく状況の変化等に伴い、今後の方針を検討し補助基準額等を見直す必要がある。</p>		太陽光発電	薪ストーブ等	民生用燃料電池	平成29年度	96件	22件	9件	平成30年度	76件	18件	15件	令和元年度	54件	14件
	太陽光発電	薪ストーブ等	民生用燃料電池													
平成29年度	96件	22件	9件													
平成30年度	76件	18件	15件													
令和元年度	54件	14件	15件													

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	住宅用自然エネルギー導入件数	87%	78%	75%	64%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>設置経費の低価格化等により、補助制度に関わらず一定程度の普及がなされてきたことが考えられる。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
	<input type="checkbox"/> 1. 拡充	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充
	<input type="checkbox"/> 2. 改善継続	<input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加
	<input type="checkbox"/> 3. 現状維持	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善
	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小	<input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化
	<input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合
		<input checked="" type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>一定程度の設備普及がなされ、設置経費も低下していることから、補助事業の必要性について見直しを行い、縮小または廃止について検討していく。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	029300	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	ごみ減量化推進事業		所属名	市民生活部環境局 廃棄物対策課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成2年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市家庭用生ごみ堆肥化容器 等購入費補助金交付要綱
施策	4203	循環型社会の形成				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鳥取市の年間ごみ総排出量(H26年度:61,181kg 以降前年度比1%減)		60,569kg	58,900kg	運営方法	直営
	自然エネルギーの導入		11,000kw	14,000kw	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	ごみ減量化推進事業費		予算事業コード	01-04-02-01-05-08	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	ごみ減量化と再資源化を推進する
手段 (どうするのか)	市民・事業者・行政が一体となって、ごみの排出抑制・再資源化を促進するため啓発活動等を実施

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	年度別実績	生ごみ減量講習会 7回 53名 生ごみ堆肥化容器等 の購入費補助 25件 ごみ減量等優良事業 所認定 累計22社	生ごみ減量講習会 6回 49名 生ごみ堆肥化容器等 の購入費補助 33件 ごみ減量等優良事業 所認定 累計22社	生ごみ減量講習会 3回 24名 生ごみ堆肥化容器等 の購入費補助 31件 ごみ減量等優良事業 所認定 累計22社	生ごみ減量講習会 4回 30名 生ごみ堆肥化容器等 の購入費補助 25件 ごみ減量等優良事業 所認定 累計22社	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費(A+B)	7,502	7,732	7,586	7,435	0
	直接経費 A	283	413	343	245	0
	国・県	64	71	59	119	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	219	342	284	125	0	
一般財源	0	0	0	1	0	
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	0	
職員数の 内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	ダンボールコンポスト補助件数	件	目標	200	200	200	200	50
				実績	25	33	31	25
(指標の説明) ダンボールコンポスト補助件数								
2	講習参加者の環境意識の向上	%	目標	80	80	80	80	80
				実績	75	92.3	90	89.655
(指標の説明) 受講者アンケート調査で環境意識が高くなったと回答をした受講者の割合								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理係 0857-30-8091</p> <p>【10次総の施策体系】4203</p> <p>【予算計上の経過】当初予算</p> <p>【事業の概要】平成19年10月から制度開始となった家庭ごみ有料化により、家庭ごみは減少したが、減量効果を維持し、さらなる事業所ごみを含めた減量化・再資源化を積極的に推し進める必要がある。 事業所ごみ減量化の取組 ごみ減量等優良事業所認定・表彰制度の実施 ごみ減量推進事業 生ごみ処理容器等の購入補助の実施 処理容器購入費用の2/3相当額を補助</p> <p>【事業の成果】講習会等の普及啓発により、生ごみ減量化に取り組む市民・事業所が増加した。 ごみ減量等優良事業所認定 累計22社 生ごみ処理容器等購入補助件数 平成29年度 33件 平成30年度 31件 令和元年度 25件</p> <p>【今後の課題・方向性】身近で、誰でもすぐに取り組める減量化を推進していく。ただし、実績が目標に達していないため、さらなる市民啓発や事業内容の見直しが必要である。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	ダンボールコンポスト補助件数	13%	17%	16%	13%	
	2	講習参加者の環境意識の向上	94%	115%	113%	112%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>目標数値の見直しが必要と考える(現状と乖離しているため)。予算額に見合った目標値としたい。制度の見直しを考慮しており、要綱改正後は増加の見込みだが、それでも現目標値よりは下回る予定。当課としては、50件程度が適当と考える。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>今後も継続実施する。ただし、実績が目標に達していないため、さらなる市民啓発や事業内容の見直し等が必要である。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	029400	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	小型家電リサイクル事業		所属名	市民生活部環境局 廃棄物対策課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成26年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律
施策	4203	循環型社会の形成				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	鳥取市の年間ごみ総排出量(H26年度:61,181kg 以降前年度比1%減)		60,569kg	58,900kg	運営方法	外部委託
	自然エネルギーの導入		11,000kw	14,000kw	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	小型家電リサイクル事業費		予算事業コード	01-04-02-01-05-11	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	使用済み小型電子機器
意図 (どのような状態 にするために)	資源の有効活用をするため
手段 (どうするのか)	拠点回収及び大型ごみからのピックアップ回収を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			拠点回収の実施 市民への制度周知	拠点回収の実施 市民への制度周知	拠点回収の実施 市民への制度周知	拠点回収の実施 市民への制度周知	拠点回収の実施 市民への制度周知
	年度別実績	拠点数:14箇所 回収量:33t ごみ収集計画表(全 戸配布)に掲載	拠点数:14箇所 回収量:50t ごみ収集計画表(全 戸配布)に掲載	拠点数:14箇所 回収量:53t ごみ収集計画表(全 戸配布)に掲載	拠点数:14箇所 回収量:70t ごみ収集計画表(全 戸配布)に掲載		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,213	8,866	8,779	8,762	0	
	直接経費 A	1,994	1,547	1,536	1,572	0	
	直接経費の財 源内訳	国・県	961	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	71	108	316	210	0
一般財源	962	1,439	1,220	1,362	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	0		
職員数の 内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	使用済小型家電回収量	t	目標	30
			実績	33	50	53	70	0
	(指標の説明) 使用済小型家電の回収量							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理係 0857-30-8091</p> <p>【10次総の施策体系】4203</p> <p>【予算計上の経過】当初予算</p> <p>【事業の概要】 「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」に基づき、使用済小型電子機器等を分別収集するため、市役所本庁舎・駅南庁舎及び各総合支所、協力販売店等にて、回収ボックスを利用した拠点回収を行う。</p> <p>【事業の成果】 小型破碎ごみとして埋立処理されていたものを有用資源として売却することにより、資源の有効利用を図った。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td></td><td style="text-align: right;">回収量</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td style="text-align: right;">50 t</td></tr> <tr><td>平成30年度</td><td style="text-align: right;">53 t</td></tr> <tr><td>令和元年度</td><td style="text-align: right;">70 t</td></tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 本事業の周知徹底により、当初の見込みを大幅に上回る回収率を達成している。中でも、各総合支所で年1回実施している「イベント回収」では、年間回収量の30%程度を占めている。業者への売却益を見込んで行っている事業であるが、周辺国の廃プラスチック輸入規制が強化された現在は、リサイクル業者への逆有償による引き渡しを余儀なくされている自治体も増加している。 回収した小型家電の中には、有償により引き渡しできないものも含まれている場合があり、その処分に係る経費は本市が負担している。また、イベント回収を実施すると、職員の拘束時間及び人件費などを総合的に考慮した場合、売却益は赤字となる。今後の方向性を検討する時期に差し掛かっている。</p>		回収量	平成29年度	50 t	平成30年度	53 t	令和元年度	70 t
		回収量							
平成29年度	50 t								
平成30年度	53 t								
令和元年度	70 t								

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	使用済小型家電回収量	110%	167%	177%	233%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>啓発を行いながら、リサイクル推進のため事業を継続していく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	029500	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	ごみ処理施設維持管理修繕事業		所属名	市民生活部環境局 廃棄物対策課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4203	循環型社会の形成				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	施設管理
	鳥取市の年間ごみ総排出量(H26年度:61,181kg 以降前年度比1%減)		60,569kg	58,900kg	運営方法	直営
	自然エネルギーの導入		11,000kw	14,000kw	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	施設維持管理修繕費			予算事業コード	01-04-02-04-02-02

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	可燃ごみの適正な処理と、可燃ごみ処理施設神谷清掃工場の維持管理
意図 (どのような状態にするために)	周辺環境に配慮するとともに、安定したごみ焼却量を維持し、市民生活に寄与する。
手段 (どうするのか)	適切な運転管理と修繕計画のもと、焼却施設の安定稼働を維持し、公害物質の発生抑制を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		各清掃施設の定期修繕を計画	各清掃施設の定期修繕を計画	清掃施設の定期修繕を計画	清掃施設の定期修繕を計画	清掃施設の定期修繕を計画	
年度別計画							
年度別実績		各清掃施設の定期修繕を実施	神谷清掃工場の定期修繕を実施 平成30年3月末に3施設(国府・ふくべ・ながお)の稼働停止	神谷清掃工場の定期修繕を実施	神谷清掃工場の定期修繕を実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	191,904	349,825	102,536	70,440	0	
	直接経費 A	184,685	342,506	95,293	63,250	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	184,685	342,506	0	0	0
一般財源	0	0	95,293	63,250	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	機械設備故障による緊急停止回数	回	目標	0	0	0	0	0
				実績	2	3	0	0
2	(指標の説明) 機械設備故障による緊急停止回数		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理係 0857-30-8091</p> <p>【10次総の施策体系】4203</p> <p>【事業の概要】 市が設置している可燃ごみ処理施設神谷清掃工場を安定稼働させるため、計画的に定期修繕を行う。</p> <p>【事業の成果】 計画的に定期修繕を行い、可燃ごみ処理施設神谷清掃工場は安定的に稼働されている。</p> <p>【事業の内容】 焼却炉耐火物の補修、各設備機器の点検整備、老朽化設備機器の更新を行った。 平成29年度 342,506千円 平成30年度 95,293千円 令和元年度 63,250千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行しているが、令和4年8月には新可燃ごみ処理施設の稼働が開始が予定されていることから、安定稼働の確保を前提とした短期的な修繕計画の策定が必要となる。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	機械設備故障による緊急停止回数					
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	市が設置している可燃ごみ処理施設神谷清掃工場を安定的に稼働するため、計画的に定期修繕を行うものであり、市民生活のために必要不可欠な事業である。対象や意図、目標も適切である。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	停電により運転不能となったことはあったが機械設備の故障による緊急停止はなく、安定稼働を維持し公害物質排出量を自主管理目標値以下に抑制した。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input checked="" type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>令和4年8月には新可燃ごみ処理施設の稼働が開始が予定されていることから、安定稼働の確保及び公害物質の発生抑制を前提とした効率的な修繕計画を策定してゆく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	029600	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	東部広域可燃物処理場建設事業		所属名	市民生活部環境局 廃棄物対策課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	4203	循環型社会の形成				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	鳥取市の年間ごみ総排出量(H26年度:61,181kg 以降前年度比1%減)		60,569kg	58,900kg		
	自然エネルギーの導入		11,000kw	14,000kw		
事業の目標			0	0	運営方法	その他
					会計区分	一般会計
予算	予算事業名	可燃物処理場建設広域負担金			予算事業コード	01-04-02-02-05-02

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	東部広域行政管理組合 可燃物処理場
意図 (どのような状態にするために)	東部広域行政管理組合の可燃物処理場建設を支援する
手段 (どうするのか)	東部広域行政管理組合の事業実施に対する市町村負担金を支払う。 プラント建設工事設計・施工管理等 プラント建設工事 敷地造成工事 ほか

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		東部広域への市町村負担金を支払	東部広域への市町村負担金を支払	東部広域への市町村負担金を支払	東部広域への市町村負担金を支払	東部広域への市町村負担金を支払	
	年度別実績	91,055千円の負担金を支払	309,463千円の負担金を支払	447,292千円の負担金を支払	808,931千円の負担金を支払		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	98,274	316,782	454,535	816,121	0	
	直接経費 A	91,055	309,463	447,292	808,931	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	190,600	296,200	610,400	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	91,055	118,863	151,092	198,531	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	可燃物処理場建設事業の鳥取市負担金額	千円	目標	111573	363678	385988	847583	3223644
				実績	91055	309463	447292	808931
2	(指標の説明) 平成34年度竣工予定の可燃物処理場建設事業の鳥取市負担金額		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理係 0857-30-8091</p> <p>【10次総の施策体系】4203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P208(環008)</p> <p>【事業の概要】 国のごみ処理広域化計画に基づいて県が策定したごみ処理広域化実施計画を踏まえ、県東部地区15市町村(当時)は可燃ごみを広域処理するための基本協定を締結した。 これにより、東部広域行政管理組合は新たにごみ処理施設を建設することとし、河原町国英地区において新工場の供用開始を目指している。 県東部地区の可燃ごみの焼却を1つの焼却場に集約することにより、ダイオキシン類等の発生リスクを抑え、かつ可燃ごみを広域処理をすることでごみ処理にかかるコストを削減する。 東部広域行政管理組合における事業実施に対する市町負担金を支払う。 プラント建設工事設計・施工管理 プラント建設工事 敷地造成工事(4.2ha) その他【事業の成果】 平成29年度 309,463千円 平成30年度 447,292千円 令和元年度 808,931千円</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	可燃物処理場建設事業の鳥取市負担金額	82%	85%	116%	95%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>重要施策であり、適正に推進していく。</p>		